

# SASE SOC (Cato SASE Platform)

NWとセキュリティを統合した SASEプラットフォーム Cato SASE Platformを監視します。

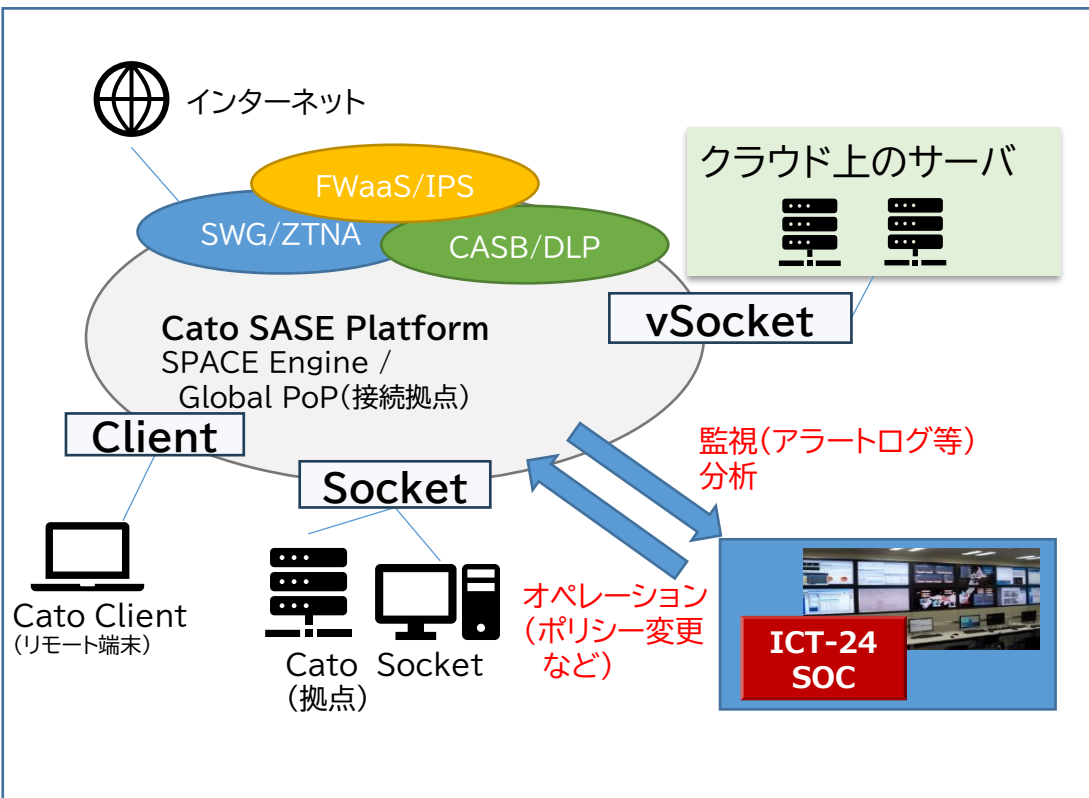


拠点・リモート・クラウドを統合的にセキュリティ管理したいが、セキュリティ監視を外部に任せたい。

- ▶ 85以上のPoP(Point of Presence 接続拠点)によるグローバルバックボーン SLA保証付きのグローバルプライベートバックボーンにより、低遅延・高パフォーマンスなNW接続を実現。(Cato SASE Platformの特徴)
- ▶ 重要度の高いアラートのみを通知して、運用負荷を削減  
お客様の状況にあわせてポリシーをチューニングしたり、通知アラートを取捨選択。
- ▶ 他のEDR製品と組み合わせた分析可能(オプション)  
他のEDR製品で端末のプロセスの分析など組み合わせて分析も可能。

- Socket(Cato Socket): 拠点や工場からの接続。  
(Cato SASE PlatformのPoPにCato SocketまたはIPsecで接続)
- Client(Cato Client): リモート端末からの接続
- vSocket(Cato vSocket): クラウド上のサーバへの接続

- SASE (Secure Access Service Edge): セキュリティとネットワークの機能をクラウドベースのサービスとして統合して提供するサービス
- SWG(Secure Web Gateway): ユーザが社外ネットワークへのアクセスを安全に行うための、主にクラウド型として提供されるプロキシ(Proxy) (代理中継サーバ)
- CASB(Cloud Access Security Broker): ユーザとクラウドサービスの間にはいり、クラウドサービスの利用状況を可視化して監視し、各種制御をするもの
- FWaaS(Firewall as a Service): クラウドから提供されるNGFW機能。全トラフィックを検査し、アプリ制御・脅威防御を実現
- SPACE Engine: Single Pass Cloud Engine。Cato SASE Platform の通信について複数のセキュリティ機能を統合的に実行する。



- 現在、DLP、CASBの機能には対応していません。
- TP (Threat Prevention) のオプションが監視に必要です。

詳細・お問合せ

<https://www.ntt-at.co.jp/product/sase-soc/cato.html>

対象業界: 全ての業界

提供形態: **運用**

